

質問；ソフトボールで「DP」とか「FP」という言葉を聞きますが、その意味を教えてください。

回答；「DP・FP」は多くの試合で採用されていますが、このルールは、まず基本をしっかり理解し覚えておくことが大切です。また、考えすぎると頭の中がごちゃごちゃになる恐れがありますね。

通常、試合に出場している選手は打撃も守備もしますが、守備をせずに打撃のみの選手のことをソフトボールでは「DP(=DESIGNATED PLAYER)、指名選手」と言います。一方、DPの守備者を「FP(=FLEX PLAYER)」と言います。FPを投手とする場合が多いですが、投手に限る必要はありません。どの守備位置でも構いません。DPを採用した場合、出場選手は10人となります。DP・FPの選手は、いつでも控えの選手と交代することができます。また、スターティングメンバーのDP、FPの選手は再出場もできます。

※メンバー表(=ラインアップカード)への記載方法は次のとおりです。

DPの選手は、守備位置の欄に「DP」と必ず記載しなければいけません。一方、FPの選手は9番打者の次の欄(10番目)に守備位置、例えば投手であれば「1」と書きます。「FP」の文字は書きません。

※「覚えたい3つのキーポイント」

- ①FPは攻撃のみのプレイはできない。
- ②DPは守備のみのプレイはできない。
- ③DPとFPは同時に攻撃はできない。

以上が基本編です。

【ここからは活用次第では強い武器になりますので、よく理解してください】

応用編的な事柄ですが、ルールです。

まず、DPの選手は、次のことが認められています。

- ◎その1 DPはFPの守備を兼ねることができる。
- ◎その2 DPはFP以外の守備を兼ねることができる。

つまり、DPの選手は、どの守備をも兼ねることができるということです。

具体例でご説明します。

その1の場合、FPが投手と仮定しますと、DPは投手を兼ねることができるということ

です。この場合、FP は試合から退くことになり、選手は 10 人→9 人となります。
次にその 2 です。例えば四番・DP の A 選手は FP ではない二番・二塁手 B 選手の守備を兼ねることもできるということです。

では、ここでちょっと考えてください。二番の打撃は誰がするのでしょうか？

答えは、二塁手であった B 選手です。つまり、B 選手はベンチには退きますが、打撃は継続することになります。そうしなければ打順に穴が開いてしまいます。このような選手のことを打撃専門選手(=OPO)と言い、試合には出ている状態です。

その 2 を更に発展させましょう。

B 選手を二塁に戻し(兼務を解除)、DP の A 選手を七番・ライトの C 選手の守備につかせる、更に次の回に、C 選手をライトに戻し、A 選手を一番・センターの D 選手の守備につかせるというように、何度でもできます。A 選手は試合から退いていませぬので再出場ではありません。また、ライトの C 選手、センターの D 選手も試合からは退いておらず、守備位置に戻っても再出場ではありません。例は極端ですが、このようなこともできるということを理解してください。

次は FP について説明します。

FP は DP の守備の選手ですが、DP の打撃を兼ねることが認められています。

DP 以外の打撃を兼ねることはできません。誤って打撃に入って相手チームからアピールがあり、審判員が認めた場合、選手は勿論、監督も退場となるので注意してください。

前述のとおり DP が FP の守備を兼ねた場合、FP は一旦、試合から退いたこととなります。スターティングプレイヤーの FP が再出場する場合は、FP として守備につくか(必ずしも元の守備位置でなくても OK です)、DP の打撃を兼ねるかになります。それ以外は認められません。

…… 注意事項です ……

次のことはルール違反となり、違反選手は試合から除外される等のペナルティが課せられますまで注意が必要です。

- その 1 DP が守備のみ、また FP が打撃のみとすること。
- その 2 DP・FP 同時に打撃する。
- その 3 球審に通告しないで交代させる。(無通告交代)

以上ですが、ご理解いただけましたでしょうか。頭の中がぐちゃぐちゃにはなっていませんか？